平成２９年４月入学

広島市立大学大学院
情報科学研究科博士前期課程
学生募集要項（第２次募集）

一般入試

社会人特別入試

目　　次

１　情報科学研究科（博士前期課程）の概要……　2
２　募集人員及び試験会場　……　3
３　出願資格　……　3
４　出願手続　……　4
５　入学者選抜方法　……　6
６　合格者発表　……　7
７　入学手続　……　7
８　納付金等　……　8

研究室，研究テーマ及び教員　……　9

試験会場案内　……　13

本学所定様式
（以下の出願書類は，別途ダウンロードしてください。）

［Ａ票］入学志願票
［Ｂ票］履歴票
［Ｃ票］受験票・写真票・入学検定料振込証明書貼付票
入学検定料振込依頼書

Hiroshima City University

発行：平成 28 年 12 月

1　情報科学研究科（博士前期課程）の概要

⑴　アドミッション・ポリシー

広島市立大学は，豊かな感性と真理探究への情熱を持ち，多様な文化と価値観を尊び，平和を希求する人材を育成します。さらに，幅広い知識と確かな専門性を有し，高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成します。

この目標とする人材を育成するため，次のような人の入学を求めています。

- 人間性豊かで，向学心の旺盛な人
- 知的好奇心と探究心を持ち，知の創造と活用に意欲のある人
- 世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

情報科学研究科では次のような人を求めています。

- 情報科学に関する学理の探究と，科学技術の発展に関心がある人
- 自ら進んで問題に取り組み，その成果を社会に還元する意欲がある人
- 情報科学の探求に必要な数理的・科学的思考ができる人

⑵　専攻の概要

本研究科は情報工学専攻，知能工学専攻，システム工学専攻，医用情報科学専攻の 4 専攻からなり，①コンピュータとネットワークの要素技術の研究とその応用，そして次世代のコンピュータとネットワークを創成する能力，②知識基盤社会におけるさまざまな形態のコミュニケーションに対応する知識情報処理を理解し，それをシステム化する能力，③人間，コンピュータ，機械が有機的に結合した人にやさしい高機能システムの開発・実現能力，④様々な分野間の研究に横断的に取り組み，柔軟に境界領域，応用領域を開拓できる問題発見・解決型能力，⑤自主プロジェクト演習を通し，自ら独創的研究を計画推進できる実践能力を養うとともに，独立して専門的ないし学際的研究を行える総合的な分析力，企画力，判断力さらに国際的視野を身につけた人材を養成します。

授業科目は，「情報工学専攻」ではコンピュータハードウェア分野，コンピュータシステム分野，コンピュータネットワーク分野，コミュニケーション基盤分野，「知能工学専攻」では知能ソフトウェア分野，知能メディア分野，知能サイエンス分野，「システム工学専攻」では人間・ロボット共生分野，インタフェースデザイン分野，「医用情報科学専攻」では，情報科学及び医用生体工学に関連する学際融合分野において，科学技術の高度化と多様化に対応できるよう基礎から応用までの学識，技術の体系を修得できるように開設しています。

⑶　授与する学位の種類

博士前期課程では，修士論文の内容により，「修士（情報科学）」又は「修士（情報工学）」のいずれかになります。

⑷　修業年限

博士前期課程の修業年限は 2 年間とします。ただし，優れた研究業績をあげた者については，1 年以上の在学をもって修了を認めることがあります。

⑸　長期履修学生制度

博士前期課程の修業年限は上記のとおり 2 年間ですが，入学後の申請により「長期履修学生」として認められた場合は，修業年限を延長して入学時から 3 年間又は 4 年間で計画的に教育課程を履修することができるようになります。この場合，正規の修業年限である 2 年間分の授業料を，3 年間又は 4 年間で納入することとなるため，「長期履修学生」となったことによって納入すべき授業料の総額が増加することはありません。

「長期履修学生」の申請ができるのは，原則として社会人特別入試により入学した者に限ります。

２　募集人員及び試験会場

研究科	専　　攻	入学定員	募集人員		試験会場
			一般入試	社会人特別入試	
情報科学研究科	情報工学専攻	23名	若干名	若干名	広島市立大学
	知能工学専攻	23名	9名	若干名	
	システム工学専攻	23名	5名	若干名	
	医用情報科学専攻	15名	10名	若干名	

３　出願資格

⑴　一般入試

次の①から⑩のいずれかに該当する者（①から⑧については，平成 29 年 3 月 31 日までに取得見込みの者を含む）

① 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）に規定する大学を卒業した者
② 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者
③ 外国において，学校教育における 16 年の課程を修了した者
④ 文部科学大臣の指定した者
⑤ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより，当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
⑥ 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

⑧ 大学に 3 年以上在学し又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し，本学大学院が所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
⑨ 本学大学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，平成 29 年 4 月 1 日において，22 歳に達した者
⑩ その他本学大学院において，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

⑵　社会人特別入試

一般入試の出願資格①から⑦及び⑨のいずれかに該当し，教育機関又は研究機関・官公庁・企業等において，平成 29 年 3 月 31 日で通算して 2 年以上の勤務経験を有する者

⑶　事前審査

上記⑧，⑨又は⑩の資格により出願しようとする者は，入学資格認定のため事前審査を行います。
必ず本学事務局入試グループへ申し出たうえで，下記の書類を提出してください。
なお，郵送の場合は，郵送期間を十分考慮のうえ，**書留速達郵便**とし，封筒表面に**「情報科学研究科事前審査申請書類在中」**と赤字で記載してください。

〔提出期限〕平成 29 年 1 月 4 日（水）午後 5 時必着

ア　必要書類は，事前審査申請書（所定の様式），成績証明書，指導教員又はこれに準ずる者の推薦書（所定の様式），在学する大学の履修基準，授業科目表等
イ　事前審査の結果は，平成 29 年 1 月 16 日（月）までに本人宛に郵送により通知します。
ウ　事前審査の結果，出願資格の認定を受けた者は，本募集要項により出願手続を行ってください。
エ　出願資格⑧により入学した場合，現に在学している大学は退学することになりますので，学士の学位は受けられません。そのため，各種国家試験等の受験資格がなくなることがあります。

4　出願手続

※出願する前に，本募集要項等を参照のうえ，下記⑶の出願先を通じて，あるいは直接，指導を希望する教員に研究内容等について必ず問い合わせをしてください。

⑴　出願期間

平成 29 年 1 月 16 日（月）から平成 29 年 1 月 20 日（金）午後 5 時まで

郵送による出願書類の提出については，**出願期限前日の平成 29 年 1 月 19 日（木）までの消印がある書留速達**に限り，期限を過ぎて到着したものも受け付けます。

⑵　出願方法

出願書類等を一括して**角形 2 号の封筒に入れ**，郵送又は持参の方法により，出願期間内に本学事務局入試グループに提出してください。郵送の場合は**書留速達郵便**とし，封筒には**「大学院入学試験出願書類在中」**と赤字で記載してください。持参の場合，受付場所は本学事務局入試グループ（本部棟 2 階）です。受付時間は，午前 9 時から午後 5 時までです。

⑶　出願先

〒731-3194　広島市安佐南区大塚東三丁目 4 番 1 号
広島市立大学事務局入試グループ
電話（082）830－1503
E-mail nyushi@office.hiroshima-cu.ac.jp

⑷　出願書類等

出願に必要な書類等			作　成　方　法　等
①	入学志願票	［A 票］	本学所定の様式に必要事項を記入してください。 記入にあたっては，欄外に記載した「**記入上の注意**」をよく読んでください。
②	履　歴　票	［B 票］	本学所定の様式に必要事項を記入してください。 記入にあたっては，欄外に記載した「**記入上の注意**」をよく読んでください。
③	受　験　票	［C 票］	本学所定の様式に必要事項を記入してください。
④	写　真　票		本学所定の様式に必要事項を記入してください。上半身，無帽，正面向き，背景なしの出願前 3 か月以内に撮影した縦 4 ㎝×横 3 ㎝の写真の裏面に氏名を記入し，のり付けしてください。
⑤	入学検定料振込証明書貼付票		入学検定料 **30,000 円**を，本学所定の振込依頼書により金融機関の窓口で振り込んでください。ＡＴＭ(現金自動預払機)は使用できません。振込後，「入学検定料振込証明書」（金融機関の出納印のあるもの）を本学所定の様式の「入学検定料振込証明書貼付票」に貼り付けて提出してください。 なお，ゆうちょ銀行又は郵便局を利用される場合は，通帳及び印鑑（届印）が必要です。現金による振込はできません。また，本学の振込依頼書と合わせてゆうちょ銀行所定の振込依頼書への記入が必要となります。
⑥	成　績　証　明　書		出身大学（学部）長等が作成し，**厳封**されたものを提出してください。 （本学の在籍者が出願する場合，厳封の必要はありません。）
⑦	卒業（見込）証明書		出身大学（学部）長等が作成したものを提出してください。
⑧	**【社会人特別入試のみ】** 業　務　実　績　書		在職中に行った業務実績をＡ4 判 2 枚程度にまとめてください。
⑨	返　信　用　封　筒		受験票送付用の定形封筒（長形 3 号，23.5 ㎝×12 ㎝）に郵便番号，住所，氏名を明記し，**82 円分の切手を貼付**してください。

（注）1　①から⑤（[Ａ票］から［Ｃ票]）の様式及び入学検定料振込依頼書は，本学ウェブサイトから所定のPDFファイルをダウンロードし，印刷して使用してください。
　様式及び入学検定料振込依頼書の印刷ができない場合は，広島市立大学事務局入試グループに請求してください。
2　特別な事情により成績証明書等の提出ができない場合は，これにかわる書類を提出してください。（大学評価・学位授与機構（旧学位授与機構）から学士の学位を授与（見込）された場合は，短期大学成績証明書，専攻科・大学各成績（学位修得）証明書及び大学評価・学位授与機構（旧学位授与機構）の学位授与証明書又は学位授与申請受理証明書等）
3　**出願書類のうち，外国語で書かれた証明書等には，日本語訳を添付してください。**

⑸　入学検定料の免除

広島市内の者で，入学検定料の納付が著しく困難であると認められる場合は，これを免除します。事前に本学事務局入試グループに相談し，期限までに申請してください。

（注）「広島市内の者」とは，次のいずれかに該当する者のことをいいます。
1　平成 28 年 4 月 1 日以前から引き続き広島市内に住所を有する者
2　配偶者又は 1 親等の親族が平成 28 年 4 月 1 日以前から引き続き広島市内に住所を有する者
3　その他これらに準ずると認められる者

〔申請期限〕
平成 29 年 1 月 4 日(水)午後 5 時必着

⑹　「東日本大震災」,「広島市における平成 26 年 8 月豪雨」又は「熊本地震」で被災した志願者への特例措置

これらの災害で被災した志願者については，出願後の申請により入学検定料を返還します（出願時には入学検定料の振込が必要です。)。また，合格者については，申請により入学料の減免を受けることができます。

申請手続には本学所定の申請書及び事実を証する書類を要します。詳細については，入試グループまでお問い合わせいただくか又は本学ウェブサイトをご覧ください。

なお，入学検定料の返還については受験票送付時に，入学料の減免については入学手続書類送付時に特例措置についてのご案内を同封します。

⑺　出願上の注意事項

①　必要な書類がそろっていない場合には受付できませんので，出願の際には十分確認してください。
②　出願書類受理後は，出願事項の変更は認めません。ただし，氏名，住所，電話番号に変更があった場合には，本学事務局入試グループまで連絡してください。
③　**いったん受理した出願書類及び入学検定料は返還しません。**
④　入学を許可した後であっても，出願書類の記載と相違する事実が発見された場合には，入学を取り消すことがあります。

⑻　受験上及び修学上の配慮を必要とする者との事前相談

障害のある者等，受験上及び修学上の配慮を必要とする者は，下記の事項を記載した申請書を作成し，本学事務局入試グループに相談してください。

申請書の様式は申出によりお渡しします。

〔申請書記載内容〕
①　志願者の氏名，住所（連絡先電話番号）
②　志望専攻等
③　障害等の種類・程度（医師の診断書又は障害者手帳（写）を添付）
④　受験上の配慮を希望する事項
⑤　修学上の配慮を希望する事項
⑥　日常生活の状況

〔申請期限〕
平成 29 年 1 月 4 日(水)　午後 5 時必着

⑼ 個人情報の取扱い

出願書類等に記載された個人情報（氏名，生年月日，性別その他の個人情報等）は，入学者選抜及び合格通知並びに入学手続を行うために利用します。

また，入学者についての同情報は，教務関係（学籍，修学指導等），学生支援関係（健康管理，奨学金申請，授業料免除申請等）業務及び調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。上記業務の一部は，個人情報について適正な管理のための必要な措置を講じた上で，外部の業者に委託する場合があります。

5　入学者選抜方法

⑴ 一般入試

① 学力検査等実施日時

専　攻	月 日（曜）	時　間　割		
		13:00		17:00
情報工学専攻 知能工学専攻 システム工学専攻 医用情報科学専攻	3月1日(水)		面　接	

（注）面接は面接委員数名が質問する個人面接とします。

② 学力検査等内容

試験科目	学　力　検　査　の　内　容　等	
面接	情報工学専攻 システム工学専攻 医用情報科学専攻	志望する専攻に関連する口述試験を含む。
	知能工学専攻	知能工学専攻に関する口述試験及びプレゼンテーション（注）を含む。

(注)卒業研究(卒業研究を行っていない場合にはこれまで学んできたこと)及び入学後に取り組みたいことを 10 分程度で話してください。なお,液晶プロジェクター及びホワイトボードを利用できますので，プレゼンテーションに利用する場合には，事前に資料等を作成し，持参してください。

③ 合否判定基準

合否判定は，面接の結果及び出願書類を総合して行います。

④ 受験上の注意事項

ア　受験者は，試験開始 30 分前までに，指定された受験者控室に入室してください。

イ　面接開始時に受験者控室に在室していない場合は，欠席したものとして取り扱います。

⑵ 社会人特別入試

① 学力検査等実施日時

専　攻	月 日（曜）	時　間　割		
		13:00		17:00
情報工学専攻 知能工学専攻 システム工学専攻 医用情報科学専攻	3月1日(水)		面　接	

（注）面接は面接委員数名が質問する個人面接とします。

② 学力検査等内容

試験科目	学　力　検　査　の　内　容　等
面　　接	業務実績及び専門科目に関する事項を中心に行う。

③ 合否判定基準

合否判定は，面接の結果及び出願書類を総合して行います。

④ 受験上の注意事項

ア　受験者は，試験開始 30 分前までに，指定された受験者控室に入室してください。

イ　面接開始時に受験者控室に在室していない場合は，欠席したものとして取り扱います。

6　合格者発表

平成 29 年 3 月 7 日（火）午前 10 時

本学の本部棟前掲示板に合格者の受験番号を掲示し，合格者に合格通知書を発送します。

また，本学のウェブサイト(http://www.hiroshima-cu.ac.jp/)でも合格者の受験番号を掲載しますが，参考情報ですので，本学掲示板又は合格者に送付する合格通知書で正式に確認してください。

なお，電話，郵便等による問い合わせには応じません。

7　入学手続

⑴ 入学手続期間

平成 29 年 3 月 13 日（月）から平成 29 年 3 月 17 日（金）まで（最終日は午後 5 時必着）

⑵ 入学手続方法

① 入学手続に必要な書類等は，合格通知書と併せて直接本人に送付します。

② 入学手続は，郵送又は持参の方法により行ってください。

郵送による場合は，必ず**書留速達郵便**とし，封筒に「**入学手続書類在中**」と赤字で記載のうえ，**入学手続期間内に必着**するよう送付してください。

持参の場合，受付場所は本学事務局入試グループ（本部棟 2 階）です。受付時間は，午前 9 時から午後 5 時までです。

③ 入学手続を完了した者には，入学手続期間終了後，入学許可書を送付します。

⑶ 提出書類

① 本学の受験票

② 誓約書（本学所定の様式）

③ 保証書（本学所定の様式）

④ 写真 1 枚（上半身，無帽，正面向き，背景なしで最近 3 か月以内に撮影した「縦 4 ㎝×横 3 ㎝」のもの。裏面に合格した研究科名及び氏名を記入してください。）

⑤ 住民票の写し（8 ページ「8　納付金等」の入学料が「広島市内の者」に該当する場合のみ，その証明として必要になります。合格者本人が広島市内の者である場合は，本人分のみの住民票の写しを用意してください。その他の場合については，合格通知書と併せて送付する，提出書類に関する通知をお読みください。）

⑷ 入学手続先

〒731-3194　広島市安佐南区大塚東三丁目 4 番 1 号
広島市立大学事務局入試グループ
電話（082）830－1503

⑸　入学手続上の注意

①　期間内に手続を行わなかった者については，入学を辞退したものとして取り扱います。

②　必要な書類がすべてそろっていない場合は受付できませんので，書類の提出の際には，十分確認してください。

③　**いったん受理した入学手続書類及び入学料は返還しません。**

④　**卒業見込みで出願した者は，卒業後，速やかに卒業証明書を提出しなければなりません。**

8　納付金等

⑴　入学手続までに納付するもの

区　　分		金　　額
入　学　料	広島市内の者(注)	282,000 円
	上記以外の者	423,000 円

※　金額は,平成 28 年 4 月現在の金額です。

(注)　「広島市内の者」とは，次のいずれかに該当する者のことをいいます。

1　平成 28 年 4 月 1 日以前から引き続き広島市内に住所を有する者

2　配偶者又は 1 親等の親族が平成 28 年 4 月 1 日以前から引き続き広島市内に住所を有する者

3　その他これらに準ずると認められる者

⑵　3 月末までに納付するもの

区　　分	金　　額
後援会費(注)	20,000 円

(注)　後援会費には，学生教育研究災害傷害保険料・学生教育研究賠償責任保険料が含まれています。

⑶　入学後に納付するもの

区　　分	金　　額	納付時期
授業料（年額 535,800 円）（注）	267,900 円	4 月末まで
	267,900 円	10 月末まで

(注) 1　金額は，平成 28 年 4 月現在の金額です。

2　改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用される予定です。

3　「長期履修学生」の授業料（年額）は，修業年限に相当する授業料の総額を，長期履修期間の年数で除して得た額になります。(「長期履修学生」については 2 ページを参照)。

⑷　入学料・授業料の減免等

①　入学料の減免

次のいずれかに該当し，入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には，入学料の減免を受けることができます。入学手続までにご相談ください。

ア　入学前1年以内に，学資を主として負担している者が死亡した場合

イ　入学前1年以内に，入学する者又は学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合

ウ　入学する者が広島市内の者であり，生活保護法の規定による保護を受けている世帯に属している場合

②　授業料の減免又は徴収猶予

経済的理由により授業料の納付が困難であり，かつ，学業優秀であると認められる場合には，授業料の減免又は徴収猶予を受けることができます。詳しくは，入学後の説明会でお知らせします。

研究室，研究テーマ及び教員

（平成 28 年 4 月 1 日現在）

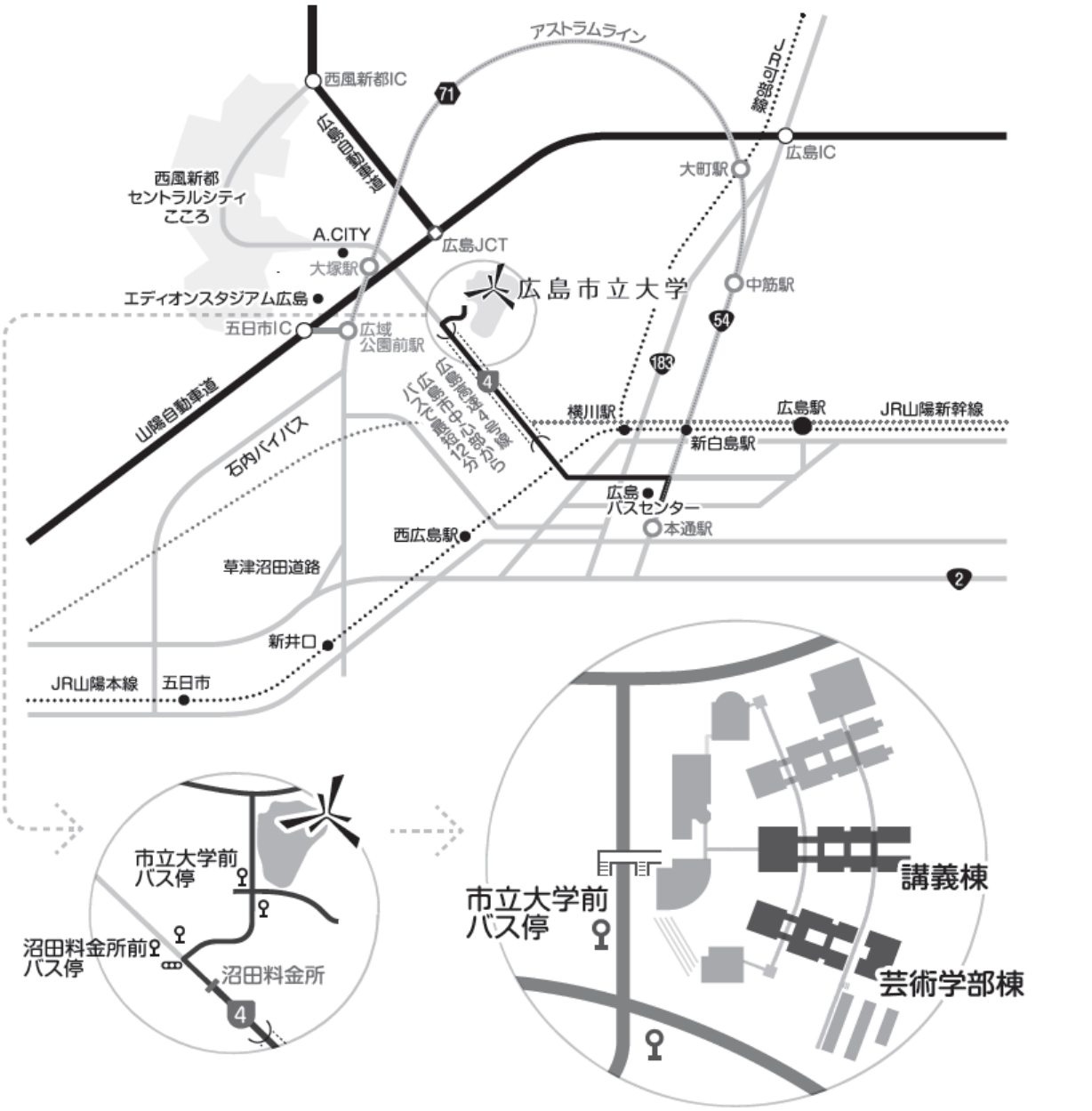
専攻	研究室	研究テーマ	教員
情報工学専攻	コンピュータデザイン	・大規模集積回路／コンピュータシステムの設計とその自動化 ・ディペンダブルコンピューティング／高信頼システムの実現 ・新しい計算パラダイム：ストカスティックコンピューティング	教　授　井上　智生 准教授　市原　英行 助　教　岩垣　　剛
	論理回路システム	・大規模集積回路・システムの電子設計自動化 ・論理回路・システムの設計と解析 ・細粒度マイクロプロセッサの構成 ・安全な分散コンピューティング	教　授　若林　真一 教　授　永山　　忍 准教授　髙橋　隆一 講　師　上土井陽子 助　教　稲木　雅人
	コンピュータアーキテクチャ	・組込みシステムの構築 ・高性能計算のための並列化コンパイラや支援ソフトウェア ・プログラミング言語処理系およびソフトウェア開発支援系 ・再構成型アーキテクチャとそれを用いたコンピュータシステム ・再構成型デバイス向けシステムソフトウェア	教　授　弘中　哲夫 講　師　川端　英之 講　師　谷川　一哉 助　教　窪田　昌史 助　教　児島　　彰
	ネットワークソフトウェア	・多様な通信サービスを実現するネットワークソフトウェアの設計 ・ニーズの異種性とネットワーク環境変動に対する適応性を満たすアシュアランスネットワークの設計 ・アドホックネットワークを活用した安心安全なネットワークシステムの開発とネットワークセキュリティ	教　授　角田　良明 准教授　大田　知行 講　師　河野英太郎 助　教　井上　伸二
	情報ネットワーク	・高速衛星回線を用いたコンピュータネットワーク ・情報ネットワークの基盤技術とそのシステムの高度化・高信頼化 ・効率的な情報交換のためのネットワークアプリケーション技術 ・組込みシステムおよび自動車ネットワークの情報セキュリティ	教　授　石田　賢治 准教授　舟阪　淳一 准教授　井上　博之 准教授　小畑　博靖
	モニタリングネットワーク	・セキュアな高信頼リモートモニタリングネットワーク ・ディジタル放送・モバイル通信におけるワイヤレス環境の解明 ・電磁波と自然現象の関連を観測する電波サイエンス	教　授　西　　正博 講　師　新　　浩一
	ネットワーク科学	・ネットワークアーキテクチャ，プロトコルなど情報通信基盤技術 ・大規模複雑ネットワークの分析と制御 ・高信頼ネットワークの構築	教　授　前田　香織 准教授　髙野　知佐
	センサシステム	・光センサ，放射線センサの基礎研究とセンサシステムの構築 ・３Ｄ原子イメージング科学の先端センサ材料創成への応用 ・高信頼な無線通信方式と電波測位方式 ・気体イオン検出におけるイオン光学シミュレーション	准教授　田中　公一 准教授　八方　直久 准教授　高橋　　賢 講　師　藤原　　真

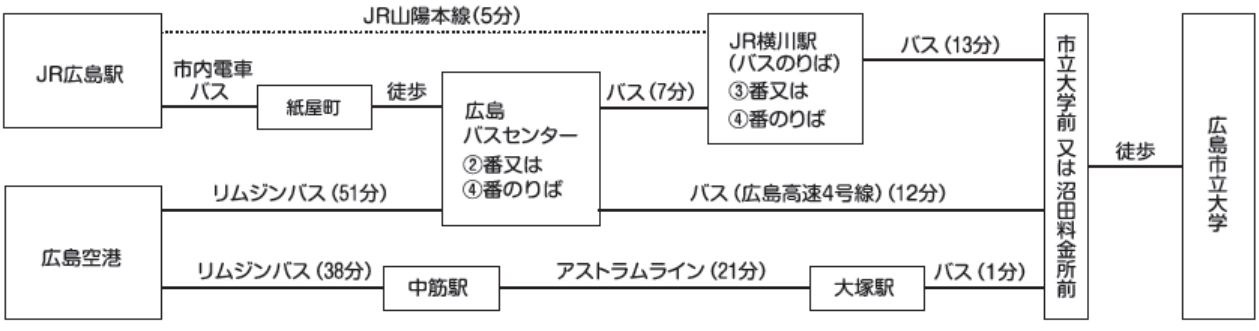
専攻	研究室	研　究　テ　ー　マ	教　　員
知能工学専攻	学習工学	・ＶＲメディアを用いた先進的学習支援システムと知識獲得手法 ・感性情報処理及び感性工学における知識表現，知識獲得手法 ・オントロジーと設計タスクにおける知識再利用	教　授　松原　行宏 准教授　岩根　典之 講　師　岡本　　勝
	データ工学	・データマイニング及び知的データベースシステム ・マルチメディアデータベース及び時空間データベース ・並列コンピューティング環境における制約処理 ・ソーシャルネットワーク・ソーシャルコンピューティング	教　授　北上　　始 准教授　黒木　　進 准教授　田村　慶一 助　教　森　　康真
	機械学習	・Webデータからのデータマイニング，半構造データからの知識発見 ・グラフ構造を有するデータに対する効率的な知識情報処理 ・半構造データからの機械学習に基づくデータマイニング	准教授　宮原　哲浩 准教授　内田　智之 助　教　鈴木　祐介
	画像メディア工学・ＣＧ	・カメラを用いた実物体の認識，形状・動き・反射特性などの計測 ・魅力的な画像・映像を高速に生成するためのレンダリング手法 ・仮想物体と実物体を違和感なく重ね合わせて見せるための技術 ・実物の色彩・質感を記録し再現するための質感工学	教　授　日浦　慎作 准教授　宮崎　大輔 准教授　古川　　亮 講　師　馬場　雅志
	言語音声メディア工学	・音声でコンピュータとコミュニケーションできる技術 ・統計的機械翻訳とその応用 ・大規模文書集合の体系化と情報アクセス技術 ・感情情報処理と対話理解及び発話意図理解	教　授　竹澤　寿幸 准教授　難波　英嗣 助　教　黒澤　義明 助　教　目良　和也
	知的メディア工学	・パターン情報の知識情報処理と知的システムの開発 ・確率的情報処理と情報統計力学 ・データマイニング及び機械学習を用いた対話エージェントの構築	教　授　髙橋　健一 准教授　三村　和史 助　教　稲葉　通将
	計算知能	・進化的計算や群知能などのナチュラル・コンピューティング （自然計算）に基づく最適化及び機械学習 ・ニューラルネットワークや進化的計算によるデータからの知識獲得	教　授　高濱　徹行 准教授　原　　章 講　師　串田　淳一
	パターン認識	・ベイズ統計学に基づくデータ解析 ・情報理論を用いた学習機械の特性解析	准教授　末松　伸朗 准教授　岩田　一貴
	知能数理	・因子分析法の数理的基礎 ・数理システムと空間配置の幾何学 ・正標数の代数的閉体において定義された代数多様体	教　授　佐藤　　学 准教授　関根　光弘 講　師　齋藤　夏雄

専攻	研究室	研　究　テ　ー　マ	教　　員
システム工学専攻	メカトロニクス	・ロボットビジョンおよび マンマシンインターフェース ・インテリジェント制御システムの設計 ・エネルギー変換システムの解析とその最適化 ・メカトロニクスシステムの設計と制御	教　授　李　　仕剛 准教授　小嵜　貴弘 助　教　小作　敏晴 助　教　厚海　慶太
	知的制御システム	・システムの同定と適応制御 ・変動するシステムのパラメータ推定と予測制御 ・人間－機械システムの最適設計 ・不確定なシステムに対する最適制御系の設計 ・バーチャルリアリティ	教　授　小林　康秀 准教授　小野　貴彦 助　教　齊藤　充行 助　教　脇田　　航
	ロボティクス	・ネットワークコンテンツとしてのロボットモーション（モーションメディア） ・物体マニピュレーションの制御方式及び教示方式 ・人間の理解に基づく知能ロボットの設計論 ・移動ロボット相互間通信システムの開発	教　授　岩城　　敏 講　師　池田　徹志 助　教　高井　博之
	数理科学	・確率過程を基礎とした最適制御理論 ・代数多様体の分類理論及びその関連分野 ・コンピュータシミュレーションの数理	教　授　田中　輝雄 講　師　廣門　正行 講　師　岡山　友昭
	組込みデザイン	・組込みシステムの形式的検証及び最適設計手法 ・高信頼リアルタイム分散システム構築手法 ・分散型組込みシステムの信頼性設計 ・センサなどの低機能デバイスのための認証プロトコル ・進化的計算を利用した組込みシステムの最適化設計	教　授　中田　明夫 准教授　島　　和之 准教授　双紙　正和 准教授　村田　佳洋 助　教　佐藤　康臣
	通信・信号処理	・量子効果デバイス応用通信・信号処理回路 ・半導体薄膜成長プロセスに関わる微量成分のレーザ計測と分子構造・成長機構の解明 ・量子情報理論を用いた通信理論および信号処理 ・インテリジェトシステムにおけるモデルの構築と信号処理への応用 ・半導体デバイスのモデリングと計測評価技術	教　授　藤坂　尚登 准教授　福島　　勝 講　師　桑田　精一 講　師　神尾　武司 助　教　辻　　勝弘
	サウンドデザイン	・サウンドデザインとその評価 ・快音化制御手法の開発とその応用 ・人間-機械-環境系のInteraction Designとその評価手法の開発 ・環境と身体の障がいを超えるコミュニケーションシステムの開発	教　授　石光　俊介 助　教　高橋　雄三 助　教　中山　仁史
	システムインタフェース	・高度な思考力の育成を目指すオンライン学習環境の構築	(兼)教授　岩城　敏 助　教　川本　佳代

専攻	研究室	研　究　テ　ー　マ	教　　員
医用情報科学専攻	バイオ情報学	・計算機実験による生命現象の物理化学的原理の解明と応用 ・視覚情報処理機構の解明とその情報工学への応用 ・病気の診断に用いるバイオセンサーの開発 ・機能性食品生産システムの開発 ・計算機を用いた生体触媒の活性と構造の相関の解明	教　授　鷹野　　優 准教授　中野　靖久 准教授　釘宮　章光 講　師　香田　次郎 助　教　齋藤　　徹
	医用画像工学	・画像に基づく人体の形態および機能の統計モデリングと知識表現 ・計算機による医用画像理解，およびその診断支援・治療支援への応用 ・新しいバイオメディカルイメージング手法およびそのデータ処理・解析法の開発	教　授　増谷　佳孝 准教授　青山　正人 准教授　藤原　久志
	医用ロボット	・MEMS(Micro-Electro-Mechanical Systems)技術を用いたマイクロ医用デバイス，生体情報極限計測技術の開発 ・医療・介護・福祉ロボットの研究開発 ・MEMS 技術を用いたウエアラブル化，フレキシブル化センサ技術の開発	教　授　式田　光宏 講　師　谷口　和弘 助　教　長谷川義大
	脳情報科学	・電位・磁界・光の計測による脳機能解析装置の開発 ・ヒトの運動学習・運動制御ダイナミクスの解明 ・非侵襲脳機能計測法を用いたブレインコンピュータインタフェースの開発 ・脳機能を維持・回復するシステムの開発 ・電磁界の脳神経系への作用の解明とそれを応用した脳機能計測解析装置の開発	教　授　樋脇　　治 准教授　福田　浩士 講　師　常盤　達司
	医用情報通信	・Body Area Network (BAN)と医療・ヘルスケアアプリケーション ・ウェアラブルセンサシステムと生体信号処理 ・医療・ヘルスケア向けクラウドデータ解析	教　授　田中　宏和 助　教　畠山　泰貴

試験会場案内





※「市立大学前」バス停から大学までは徒歩すぐ、「沼田料金所前」バス停から大学までは徒歩8分かかります。

●所要時間は目安です。

●広島バスセンター発「くすの木台」・「沼田ループ右回り 広島駅」方面行きのバスは、「市立大学前」バス停を経由します。
広島バスセンター発横川駅経由「花の季台」・「こころ西風梅苑」・「こころ産業団地」・「こころ南」方面行きのバスには、
「市立大学前」バス停を経由する便としない便とがあります。「市立大学前」バス停を経由しない便では、「沼田料金所前」バス停で下車してください。